

## レンドリース・ジャパン株式会社の地域復興支援活動「南三陸サポートプロジェクト」は7年目を迎えます

(2019年3月11日東京):2011年3月、東日本大震災発生直後、南三陸町へ救助隊を派遣するなど様々な支援活動を行ったオーストラリア政府を後方支援するため、当社代表取締役社長であるアンドリュー・ガウチは大使館職員と共に南三陸入りしました。以降当社は、震災復興支援としてオーストラリア・ニュージーランド銀行が南三陸町に寄贈したオーストラリア友好学習館(通称コアラ館)の建設時に、オーストラリアのデザイン要素についてアイデアを提供するなど、計画実現に協力しました。竣工後も、コアラ館前の花壇に定期的に花を植えるなどの支援を行いました。

このような南三陸町とのご縁から、震災発生から8年が経とうとする3月1日から2日間、「第23回南三陸サポートプロジェクト」を開催しました。

当社は、この「南三陸サポートプロジェクト」を2013年の春に開始し、3~4か月に一度の頻度で、延べ470名以上の社員やその家族、関係者が南三陸町を訪れ、コアラ館の花壇のメンテナンス、仮設住宅内の農園作業のお手伝い、仮設住宅の住民との交流「お茶っこ」を始めとする様々なボランティア活動を行ってきました。

被災された地域の方々を様々なボランティア活動でサポートするだけでなく、実際に現地を訪れ被害にあわれた方々から話を聞き、震災や街の復興について知ること、そして家族や友人・同僚に伝えることで、風化を防ぎ支援の輪を広げることができました。震災から8年が経ち、復興が進み何かの作業を手伝うといった一般的なボランティア活動に対するニーズは少なくなってきましたが、一方で、周りの社会との繋がりをどうやって維持していくかが新しい課題となっているという現地の方々の声も耳にします。そのような課題に応える為にも、継続的に現地を訪問しています。

3月開催のサポートプロジェクトでは、津波を体験した方の案内で南三陸町内をバスで訪問する語り部ツアー、ビジターセンターでの海岸の清掃と塩づくり体験、隈研吾氏が設計を手掛けられたさんさん商店街での買い物や昼食休憩、南三陸 BIO とコアラ館、Yes 工房を訪問し、花壇のメンテナンスや南三陸町の企業にも協力頂き新しい取り組みを見学しました。南三陸の方々とのコミュニケーションを通して「この震災を風化させないでほしい」、「今の南三陸を知ってほしい」という地元の方々の思いを感じた、と参加した社員は語っています。

「レンドリース・グループは、設立以来、創業者の社員とその家族の健康を育み、慈善活動や地域社会に積極的にかかわりを持ってほしいという想いから、コミュニティ・デイという社会貢献活動を毎年実施しています。その活動は1996年に始まり今年で23周年を迎えますが、当社の従業員が持つ経験とスキルを活用し、従業員とその家族、外部関係者、そして地域のパートナーと一緒に、地域社会へ恩返しと貢献を目指し実施して参りました。この「南三陸サポートプロジェクト」の発足は、当社に創業者の想いとその歴史が文化として根付いていることを証明していると思います。」(代表取締役社長アンドリュー・ガウチ)

今年は、アジア、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパの3,000人以上の人々が、地域社会にプラスのインパクトをもたらすために、同僚、コミュニティパートナー、家族、サプライヤーとともにボランティア活動を行い、200以上のコミュニティ・デイ・プロジェクトに参加しました。

これからもレンドリース・ジャパンでは、南三陸をサポートし続けていきたいと考えています。

詳細については、以下担当者にお問い合わせください。

青根 静  
マネジャー  
コーポレート・アフェア  
080-3578-3971  
[shizuka.aone@lendlease.com](mailto:shizuka.aone@lendlease.com)

平林 千洋  
コーポレート・アフェア  
080-3578-4603  
[chihiro.hirabayashi@lendlease.com](mailto:chihiro.hirabayashi@lendlease.com)

#### **About Lendlease:**

レンドリースは、オーストラリア、アジア、ヨーロッパ、アメリカにおいて不動産とインフラストラクチャービジネスを展開するグローバル企業です。当社のビジョンは” TO CREATE THE BEST PLACES”, 世界中の人々の生活を刺激し豊かにする場所を創ることです。

オーストラリア・シドニーに本社を置き、オーストラリア証券取引所に上場、世界で約 12,350 人の社員を擁する企業です。

当社の強みは、不動産開発、建設そして投資の事業セグメントに表れています。この3つのセグメントのコンビネーションが持続可能な競争力を生み、お客様へ革新的なソリューションの提供を可能にしています。

[www.lendlease.com](http://www.lendlease.com)

